

おおさかグローバルレター VOL. 2

大阪府国際化戦略実行委員会 ☎06-6948-6781

大阪留学プロモーション事業について

大阪府国際化戦略実行委員会では、今年度から大阪府国際化戦略アクションプログラムの実施に着手しており、この一環として、「外国人の受入環境整備事業」に取り組んでいるところです。その中の具体的な事業として、大阪留学プロモーション事業「JAPAN OSAKA 留学&就職フェア」を、10月21日にインドネシアで、11月3日、4日にベトナムでそれぞれ開催しました。海外から大阪に留学生を呼び込み、卒業後は大阪の企業等に就職することにより、企業活動等の積極展開やグローバル化において活躍し、ひいては大阪の国際競争力強化を担う人材へとつなげていくことをめざし、産官学が連携した形で大阪府が初めて実施したこのイベントには、両会場とも予想を上回る大勢の来場者でにぎわい、無事終了することができました。ここでは、各会場でのイベントの様子を簡単にご紹介します。

【インドネシア】

「JAPAN OSAKA 留学&就職フェア in INDONESIA」は、10月21日にインドネシア共和国の首都ジャカルタにて開催しました。会場は、オフィスビルや豪州など各国大使館が並ぶジャカルタ中心部クニンガンの大通りから一步入った高級ショッピングモール「エピセントラムウォーク」内、



(オープニングセレモニーの様子)



(出展ブースの様子)

多くの生徒や学生が来場し、オープニングセレモニー開始時には、会場が来場者で埋め尽くされ、熱気で満ちていました。

オープニングセレモニーでは、主催者挨拶に続き、来賓のインドネシア特別州教育局長、在インドネシア日本大使館公使よりご挨拶いただいた後、テープカットには在大阪インドネシア総領事館の代表者にもご列席いただき、賑やかに執り行われました。

会場内の構成は、教育関係ゾーン、企業関係ゾーン、大阪の魅力発信ゾーンとイベントステージから成り、教育関係ゾーンには大阪の大学、専門学校、日本語学校が計12ブース、企業関係ゾーンには大阪の企業やインドネシア進出日系企業が計7ブース出展したほか、在インドネシア日本大使館もブースを構え、日本留学全般や奨学金についての説明と学生からの相談に対応していただきました。



(会場内の様子)



(パネルディスカッションの様子)

来場者は、日本留学を真剣に考えている人、日本文化に興味がある人など様々でしたが、各ブースでは、熱心に学校側の説明に聞き入る学生や積極的に質問する学生の様子が見受けられました。

また、大阪の魅力発信ゾーンでは、出展機関以外の大阪の教育機関や観光情報などを紹介し、大阪で暮らすインドネシア人留学生が大阪への留学を紹介する映像も放映しました。一方、イベントステージでは、1日を通じてプレゼンテーションや講演を行いました。大阪府立大学大学院工学研究科の吉田篤正教授による「私たちの生活を支える機械工学」と題する講演を皮切りに、日本のサブカルチャーを代表するアニメーション作品制作についてのプレゼンテーションの他、ファッション講座では、来場者参加型のファッションチェックやカラーウィッグ診断などが行われ、会場内は大いに盛り上がりました。

さらに、「大阪で学び、世界に羽ばたこう」と題して、寺迫正廣大阪府立大学副学長コーディネートののもと、大阪留

学の魅力を紹介するパネルディスカッションも行いました。パネリストには、大阪の受入学校の関係者、企業採用担当者、大阪留学経験者にお越しいただき、ディスカッション後は参加者から寄せられた留学費用や大学選びのポイントなどの質問に応じていただきました。

当日の来場者は約2,800名にもものぼり、世界では、中国、韓国に続き3番目に日本語学習者が多く、発展めざましいインドネシアの若者に、大阪の魅力を直接伝えられた有意義なイベントとなりました。

【ベトナム】

「JAPAN OSAKA 留学&就職フェア in VIETNAM」はベトナム社会主義共和国南部にある同国最大の経済都市で大阪府と友好交流都市の関係にあるホーチミン市において

11月3日、4日の2日間にわたり開催されました。

このイベントは、市内中心部から車で約20分のタンビン展示場を会場とし、大阪の大学、専門学校、日本語学校が参加した教育関係ゾーンに16ブース、大阪の企業やベトナム進出日系企業が参加した企業関係ゾーンに18ブースが出展したほか、

大阪の魅力発信ゾ

ーン、イベントステージ、セミナールームで構成されており、来場者は各々の目的に合わせて会場内を自由に見学することができます。準備万端整った初日の午前10時には、オープニングセレモニーが行われ、主催者挨拶のほか、来賓として招待したホーチミン市教育訓練局、在ホーチミン日本総領事館、ホーチミン日本商工会の代表者からもご挨拶をいただき、テープカットでにぎやかにスタートしました。

開場とともに、続々と日本への留学や就職に関心のあるホーチミンの学生たちが来場し、各ブースでは担当者からの説明に真剣な表情で耳を傾ける姿がたくさん見られました。また、単に話を聞くだけでなく、どのようなことが学べるのか、どうやったら入学できるのかといった専攻内容に関することから、日本の生活費や学費はどうかといった経済的な問

題に関することまで、彼らから積極的に質問する光景も見られました。

ステージ上では、大阪府立大学大学院工学研究科の瀬川大資教授による「大阪府立大学で陸・海・空のフロンティアを目指そう」と題する講演が行われたほか、インドネシアと同様の実演講座やパネルディスカッションが実施され、会場席はどのイベントも大勢の聴衆が集まりました。

今回のイベントでは、企業がプロモーションに参加するというのも特徴となっています。会場での企業の活動は様々ですが、将来のベトナム進出に向けて、優秀な人材獲得のリサーチ、就職先としての企業活動のPR、採用エントリーシートの収集などを行っているブースもあり、当委員会が目指す外国人材活用の方向性に沿ったプロモーションの活用事例も見られました。

一日を通じてほぼ途切れることなく来場者で賑わった今回のフェアには、2日間の合計で約3,000名が集まり、予想以上の集客結果となりました。ホーチミンの若者は、皆礼儀正しく、なかでも、日本語を学んでいる学生は日本語でスタッフに挨拶したり、質問したりと、日本に対する強い関心と憧れを持った姿が印象的で、彼らに留学先としての大阪の魅力の一端を伝えることができたのではないかと感じられるイベントとなりました。

一日を通じてほぼ途切れることなく来場者で賑わった今回のフェアには、2日間の合計で約3,000名が集まり、予想以上の集客結果となりました。ホーチミンの若者は、皆礼儀正しく、なかでも、日本語を学んでいる学生は日本語でスタッフに挨拶したり、質問したりと、日本に対する強い関心と憧れを持った姿が印象的で、彼らに留学先としての大阪の魅力の一端を伝えることができたのではないかと感じられるイベントとなりました。

今回のイベントを通じて特徴的だったのは、インドネシア、ベトナム両国とも非常に親日的であり、日本への留学に強い関心を持っている若者が多いということでした。現在、両国からの留学生数は、まだまだ少数ですが、実際に日本語を学習している潜在的な留学希望者は相当いると思われます。彼らのニーズをしっかりと大阪で受け止めることができるよう、今後とも留学生の受入環境の整備に向けて、当委員会の事業の充実を図っていきたいと思います。



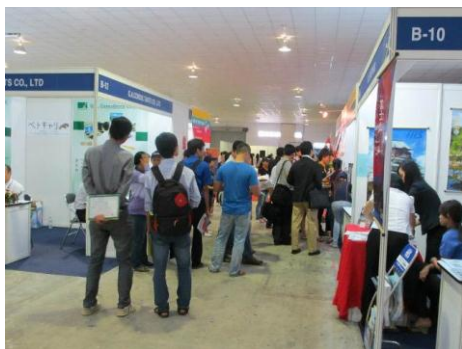
(イベント参加学生の様子)



(ステージイベント実施風景)



(オープニングセレモニーの様子)



(出展ブース風景)